

4) 畦塗り機

(1) 用途

畦の亀裂、ネズミや雑草などの根によって開かれた穴をふさぎ、水田からの漏水を防止するため、畦に泥を塗り付け、補修、整形するのに使用する。

(2) 構造

乾田状態で行うものと、湛水状態で行うもの及びその両用のものがある。基本構造は、土掛け装置とその土をあぜ面に塗り付ける整形板などからなるトラクター後部の3点リンクに搭載してPTOで駆動し、回転爪で元畦ののり面を削ったり土を掛けながら畦を整形するものである。畦の整形方式には、高畦に適した円錐形の回転ドラム方式、低畦に適したつづみ形のドラムを押しつけて行う方式、畦整形板を転載させ畦をたたくことにより整形する方式などがある。20～40cmの高さの畦を整形できる。

(3) 取扱上の留意点

湿田用や乾田用の別、及び、ドラム回転式と振動式の別などを考慮して土質や使用条件に適したものを選定することが大切である。

(4) 安全作業のポイント

トラクターと本横両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

PTO 軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。

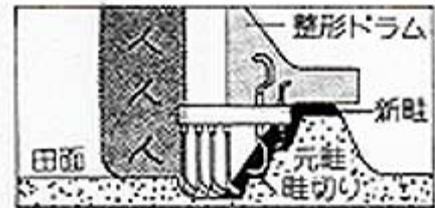
点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。

着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。

PTO 軸などの回転部や掘削部への巻込まれに注意する。



円錐ドラム式畦塗り機



振動整形式畦塗り機